

## 2024年 1月6日～8日 知的障害者日本代表 GK報告

### <目的>

- ・代表歴のあるGKの今現在のプレー、代表へのマインド確認。
- ・2027年世界大会や親善試合に向けての新しいプレーモデルの認知、確認、確立。
- ・新しいプレーモデルへのアプローチと取り組みへの挑戦。

### <GK>

- ・野崎将智
- ・青沼悠土

### <TR内容>

#### 1日目

- ・W-UP
- ・グローバルTR（コラブシング+ディストリビューション+リアクション）
- ・グローバルTR（ディストリビューション+リアクション）
- ・グローバルTR（ディストリビューション+リアクション+数的不利）

#### 2日目 AM

- ・W-UP
- ・グローバルTR（全体的な動きを含んだTR）（ディストリビューション+ブロック）
- ・グローバルTR（ディストリビューション+リアクション（反応））
- ・セービングTR

#### 2日目 PM

- ・W-UP
- ・グローバルTR（キャッチング+ブロック+キャッチング+ディストリビューション）
- ・グローバルTR（リアクション+ブロック+キャッチング+ディストリビューション）

- ・グローバルTR（リアクション+1対1+キャッチング+ディストリビューション）

#### <成果と課題>

今回のTRはチーム全体でGKを活用しての回避+攻撃参加を本格的に導入する為、GKトレーニングからディストリビューション（GKからのボールの配給）を重点的にトレーニングしていきました。

FPへのパスの配給方法、パスを配給する場所の認知、FPからパスをもらった際のボール運び方等に一定の成果は出せたと思います。課題としては速くパスを配給する、速く前に運ぶ、相手自陣の奥を見て奥に出すロングボールの活用に課題が出ました。常に速く、正確性を意識してトレーニングスピードをもっと上げられるようにすることが今後の目標になります。

シュートストップに関しては、前回の合宿よりもシュートへの反応速度が上がりストップ回数は増えました。フォームの選択もエラーが減っているのは成長だと思います。シュートストップの課題としてはシュートに対して身体が下がった時の止まるタイミングと身体のバランス。一対一の前に出る判断と正しいポジショニングの正確性が課題に挙げられました。